

病床・外来機能報告制度対象医療機関 御中

厚生労働省医政局地域医療計画課

令和6年度病床・外来機能報告の実施について

平素から医療行政の推進について御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

医療法（昭和23年法律第205号）第30条の13の規定に基づき、病院又は診療所であって療養病床又は一般病床を有するものは、毎年7月1日時点における病床の機能と2025年の病床の機能の予定、入院患者に提供する医療の内容等を都道府県知事に報告（病床機能報告）することとしています。また、令和3年5月に成立・公布された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」（令和3年法律第49号）に基づき、令和4年より外来医療の実施状況も都道府県知事に報告（外来機能報告）することとなりました。

報告は、医療機関等情報支援システム（G-MIS）から実施していただきます。各医療機関におかれましては、添付のマニュアル等を御確認の上、期限までに報告いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ窓口】

**問い合わせ窓口 厚生労働省「令和6年度病床・外来機能報告」事務局**

委託先

- ・報告内容に関するお問い合わせ：株式会社三菱総合研究所（制度運営事務局）  
※報告様式1・2、プレプリントデータ、その他、病床・外来機能報告制度についてはこちらにお問い合わせください。
- ・G-MISに関するお問い合わせ：厚生労働省 G-MIS 事務局  
※ユーザ名、G-MISの画面操作方法、システム障害発生時等についてはこちらにお問い合わせください。

**電話（フリーダイヤル）0120-142-305 [平日9:00~17:00 受付]**

**FAX 番号：03-5615-9278 [24 時間受付]**

※FAXでのお問い合わせの際は、病床・外来管理番号、医療機関名、担当者名、所在地、電話番号を必ず記載してください。

**病床・外来機能報告 問合せフォーム（G-MIS サイトの連絡フォーム）[24 時間受付]**

※病床・外来機能報告 問合せフォームについては「令和6年度病床機能報告 報告マニュアル<②手順編>」「令和6年度外来機能報告 報告マニュアル」を御確認ください。

※電話、FAXの開設期間は令和6年9月20日9:00~12月27日17:00です。

※病床・外来機能報告 問合せフォームの開設期間は令和6年9月20日9:00~令和7年1月31日23:59です。

電話でお問い合わせいただく場合、音声ガイダンスが流れます。

音声ガイダンスに従い、お問い合わせ内容の番号を御入力ください。

### 【同封資料】

- ・令和6年度病床機能報告 報告マニュアル<①基本編>
- ・令和6年度病床機能報告 報告マニュアル<②手順編>
- ・令和6年度外来機能報告 報告マニュアル
- ・令和6年度病床・外来機能報告 紙媒体入手希望申請書
- ・令和6年度病床・外来機能報告 紙媒体入手希望申請書 記入要領
- ・返信用封筒
- ・「令和6年度病床・外来機能報告」病床・外来管理番号の通知

【医療機関等情報支援システム（G-MIS）】 ※令和6年10月1日9:00報告開始予定

URL：<https://www.med-login.mhlw.go.jp>

※1 報告様式1：令和6年10月1日～11月30日

※2 報告様式2：令和6年11月1日（予定）～11月30日

### 【医療機能の選択について】

病床機能報告においては、各病棟の病床が担う医療機能を選択し、御報告いただきます。

医療機能の選択にあたっての基本的な考え方及び留意点については、同封した「令和6年度病床機能報告 報告マニュアル<①基本編>」に記載しておりますので御参照ください。

特に、高度急性期・急性期に関連する医療を全く提供していない病棟については、高度急性期機能及び急性期機能以外の医療機能を適切に選択していただくようお願いいたします。

### 【紹介受診重点医療機関となる意向について】

外来機能報告においては、紹介受診重点医療機関となる意向の有無について御報告いただきます。

上記の意向の有無と外来機能報告で御報告いただいた外来医療の実施状況を踏まえ、都道府県において「協議の場」において外来機能の明確化・連携に向けて必要な協議を行い、紹介受診重点外来を地域で基幹的に担う医療機関として、「紹介受診重点医療機関」を明確化することとしています。

令和6年9月

外来機能報告制度対象医療機関 御中

厚生労働省医政局地域医療計画課

### 令和6年度外来機能報告の実施について

平素から医療行政の推進について御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年5月に成立・公布された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」（令和3年法律第49号）に基づき、病院及び有床診療所（無床診療所は任意）は、令和4年より外来医療の実施状況を都道府県知事に報告（外来機能報告）することとなりました。

報告は、医療機関等情報支援システム（G-MIS）から実施していただきます。各医療機関におかれましては、添付のマニュアル等を御確認の上、期限までに報告いただきますようお願いいたします。

#### 【問い合わせ窓口】

##### 問い合わせ窓口 厚生労働省「令和6年度病床・外来機能報告」事務局

###### 委託先

- ・報告内容に関するお問い合わせ：株式会社三菱総合研究所（制度運営事務局）  
※報告様式1・2、プレプリントデータ、その他、病床・外来機能報告制度についてはこちらにお問い合わせください。
- ・G-MISに関するお問い合わせ：厚生労働省 G-MIS 事務局  
※ユーザ名、G-MIS の画面操作方法、システム障害発生時等についてはこちらにお問い合わせください。

##### 電話（フリーダイヤル）0120-142-305 [平日9:00~17:00 受付]

##### FAX 番号：03-5615-9278 [24 時間受付]

※FAX でのお問い合わせの際は、病床・外来管理番号、医療機関名、担当者名、所在地、電話番号を必ず記載してください。

##### 病床・外来機能報告 問合せフォーム（G-MIS サイトの連絡フォーム）[24 時間受付]

※病床・外来機能報告 問合せフォームについては「令和6年度外来機能報告 報告マニュアル」を御確認ください。

※電話、FAX の開設期間は令和6年9月20日9:00~12月27日17:00です。

※病床・外来機能報告 問合せフォームの開設期間は令和6年9月20日9:00~令和7年1月31日23:59です。

電話でお問い合わせいただく場合、音声ガイダンスが流れます。

音声ガイダンスに従い、お問い合わせ内容の番号を御入力ください。

[裏面も御確認ください⇒](#)

### 【同封資料】

- ・令和6年度外来機能報告 報告マニュアル
- ・令和6年度外来機能報告 紙媒体入手希望申請書
- ・令和6年度外来機能報告 紙媒体入手希望申請書 記入要領
- ・返信用封筒
- ・「令和6年度病床・外来機能報告」病床・外来管理番号の通知

【医療機関等情報支援システム（G-MIS）】 ※令和6年10月1日9:00報告開始予定

URL：<https://www.med-login.mhlw.go.jp>

※1 報告様式1：令和6年10月1日～11月30日

※2 報告様式2：令和6年11月1日（予定）～11月30日

### 【紹介受診重点医療機関となる意向について】

外来機能報告においては、紹介受診重点医療機関となる意向の有無について御報告いただきます。

上記の意向の有無と外来機能報告で報告いただいた外来医療の実施状況を踏まえ、都道府県において「協議の場」において外来機能の明確化・連携に向けて必要な協議を行い、紹介受診重点外来を地域で基幹的に担う医療機関として、「紹介受診重点医療機関」を明確化することとしています。

令和  
6  
年度

# 病床機能報告 報告マニュアル<①基本編>

※本書では医療機能の選択にあたっての考え方について記載しています。

## 目次

1. 病床機能報告の基本的な考え方 .....	1
2. 報告対象機関が病院の場合 .....	3
2-1. 各病棟の病床が担う医療機能について .....	3
2-2. ご報告いただく医療機能の時期 .....	5
2-3. 医療機能の選択における基本的な考え方 .....	5
2-4. 医療機能の選択における留意点 .....	6
2-5. 病棟の統廃合等を予定している場合の留意点 .....	7
3. 報告対象機関が有床診療所の場合 .....	8
3-1. 有床診療所における医療機能について .....	8
3-2. 有床診療所の病床の役割として担っている機能について .....	8

令和6年9月

厚生労働省

## 1. 病床機能報告の基本的な考え方

病床機能報告制度とは、医療法（昭和23年法律第205号）第30条の13に基づいて実施する制度であり、医療機関のそれぞれの病棟が担っている医療機能を把握し、その報告を基に、地域における医療機能の分化・連携を進めることを目的としています。各医療機関においては、地域医療構想調整会議で議論した場合は議論の内容に留意し、その有する病床において主に担っている医療機能を自主的に選択し、病棟単位で、その医療機能について、都道府県に報告してください。回復期機能を担う病床が各構想区域で大幅に不足しているとの誤解が生じないように、病床機能報告にあたっては、例えば、「急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療」を提供している場合には、現状において、リハビリテーションを提供していなくても回復期機能を選択できることや、回復期機能について、「リハビリテーションを提供する機能」や「回復期リハビリテーション機能」のみに限定するものではないことに留意し、適切な病床機能を選択することが重要です。

なお、病床機能報告の結果について、医療機能や供給量を把握するための目安として、地域医療構想調整会議で活用する際は、病床機能報告の集計結果と将来の病床の必要量とを単純に比較するのではなく、詳細な分析や検討を行ったうえで協議が行われるよう、厚生労働省としても引き続き、先行している県の取り組みを紹介する等の支援を行ってまいります。

### <参考>

○ 医療法（昭和23年法律第205号）（抄）

第三十条の三（略）

2（略）

六 地域における病床の機能（病院又は診療所の病床において提供する患者の病状に応じた医療の内容をいう。以下同じ。）の分化及び連携並びに医療を受ける者に対する病床の機能に関する情報の提供の推進に関する基本的な事項

3（略）

第三十条の三の二 厚生労働大臣は、前条第二項第五号又は第六号に掲げる事項を定め、又はこれを変更するために必要があると認めるときは、都道府県知事又は第三十条の十三第一項に規定する病床機能報告対象病院等の開設者若しくは管理者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、同項の規定による報告の内容その他の必要な情報の提供を求めることができる。

2（略）

第三十条の十三 病院又は診療所であつて療養病床又は一般病床を有するもの（以下「病床機能報告対象病院等」という。）の管理者は、地域における病床の機能の分化及び連携の推進のため、厚生労働省令で定めるところにより、当該病床機能報告対象病院等の病床の機能に応じ厚生労働省令で定める区分（以下「病床の機能区分」という。）に従い、次に掲げる事項を当該病床機能報告対象病院等の所在地の都道府県知事に報告しなければならない。

一 厚生労働省令で定める日（次号において「基準日」という。）における病床の機能（以下「基準日病床機能」という。）

二 基準日から厚生労働省令で定める期間が経過した日における病床の機能の予定（以下「基準日後病床機能」という。）

三 当該病床機能報告対象病院等に入院する患者に提供する医療の内容

四 その他厚生労働省令で定める事項

2・3（略）

- 4 都道府県知事は、厚生労働省令で定めるところにより、第一項及び第二項の規定により報告された事項を公表しなければならない。
- 5 都道府県知事は、病床機能報告対象病院等の管理者が第一項若しくは第二項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたときは、期間を定めて、当該病床機能報告対象病院等の開設者に対し、当該管理者をしてその報告を行わせ、又はその報告の内容を是正させることを命ずることができる。
- 6 都道府県知事は、前項の規定による命令をした場合において、その命令を受けた病床機能報告対象病院等の開設者がこれに従わなかったときは、その旨を公表することができる。

第九十二条（略）第三十条の十三第五項又は第三十条の十八の二第二項の規定による命令に違反した者は、三十万円以下の過料に処する。

※ 法律上は、医療機関から都道府県知事にご報告いただくこととなっていますが、事務作業の効率化のため、厚生労働省は株式会社三菱総合研究所に、制度運営事務局業務等を一部業務委託しています。

## 2. 報告対象機関が病院の場合

### 2-1. 各病棟の病床が担う医療機能について

病床機能報告においては、病棟ごとに病床が担う医療機能をご報告いただきます。各医療機関のご判断で、下表の4つの中から**1つ**をご選択ください。

なお、看護人員配置別に設定されている入院基本料と病床機能報告上の医療機能との関係については、看護人員配置が手厚いほど医療密度の濃い医療を提供することが期待されて診療報酬が設定されておりますが、病床機能報告においては、看護人員配置が手厚い場合であっても、実際に提供されている医療機能を踏まえて報告するものです。

医療機能の名称	医療機能の内容
<p style="text-align: center;"><b>高度急性期機能</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能</li> <li>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、特定の入院基本料を算定していることをもって、ただちに高度急性期機能であることを示すものではない。医療資源投入量など実際に提供されている医療内容の観点から、高度急性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1～3）</li> <li>・特定機能病院入院基本料（一般7対1入院基本料）</li> <li>・専門病院入院基本料（一般7対1入院基本料）</li> </ul> </li> <li>※ 高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室など、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟</li> <li>※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急入院料（救命救急入院料1～4）</li> <li>・特定集中治療室管理料（特定集中治療室管理料1～6）</li> <li>・ハイケアユニット入院医療管理料（ハイケアユニット入院医療管理料1～2）</li> <li>・脳卒中ケアユニット入院医療管理料</li> <li>・小児特定集中治療室管理料</li> <li>・新生児特定集中治療室管理料（新生児特定集中治療室管理料1～2、新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料）</li> <li>・総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児集中治療室管理料、新生児集中治療室管理料）</li> <li>・新生児治療回復室入院医療管理料</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>急性期機能</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能</li> <li>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、特定の入院基本料を算定していることをもって、ただちに急性期機能であることを示すものではない。医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から急性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1～6）</li> <li>・特定機能病院入院基本料（一般7対1入院基本料、一般10対1入院基本料）</li> <li>・専門病院入院基本料（一般7対1入院基本料、一般10対1入院基本料）</li> <li>〔 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院基本料（地域一般入院料1～2）</li> <li>・専門病院入院基本料（一般13対1入院基本料）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）</li> <li>・地域包括医療病棟入院料</li> </ul> </li> </ul>



医療機能の名称	医療機能の内容
回復期機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能</li> <li>○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）</li> <li>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から回復期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料4～6、地域一般入院料1～3）</li> <li>・特定機能病院入院基本料（一般10対1入院基本料）</li> <li>・専門病院入院基本料（一般10対1入院基本料、一般13対1入院基本料）</li> </ul> </li> <li>※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）</li> <li>・回復期リハビリテーション病棟入院料（回復期リハビリテーション病棟入院料1～5、回復期リハビリテーション入院医療管理料）</li> <li>・地域包括医療病棟入院料</li> </ul> </li> </ul>
慢性期機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能</li> <li>○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能</li> <li>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から慢性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院基本料（地域一般入院料1～3）</li> <li>・専門病院入院基本料（一般13対1入院基本料）</li> <li>・療養病棟入院基本料（療養病棟入院料1～2）</li> <li>・障害者施設等入院基本料（障害者施設等7対1入院基本料、障害者施設等10対1入院基本料、障害者施設等13対1入院基本料、障害者施設15対1入院基本料、障害者施設等特定入院基本料）</li> </ul> </li> <li>※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊疾患入院医療管理料</li> <li>・特殊疾患病棟入院料（特殊疾患病棟入院料1～2）</li> <li>・地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）</li> </ul> </li> </ul>

## 2-2. ご報告いただく医療機能の時期

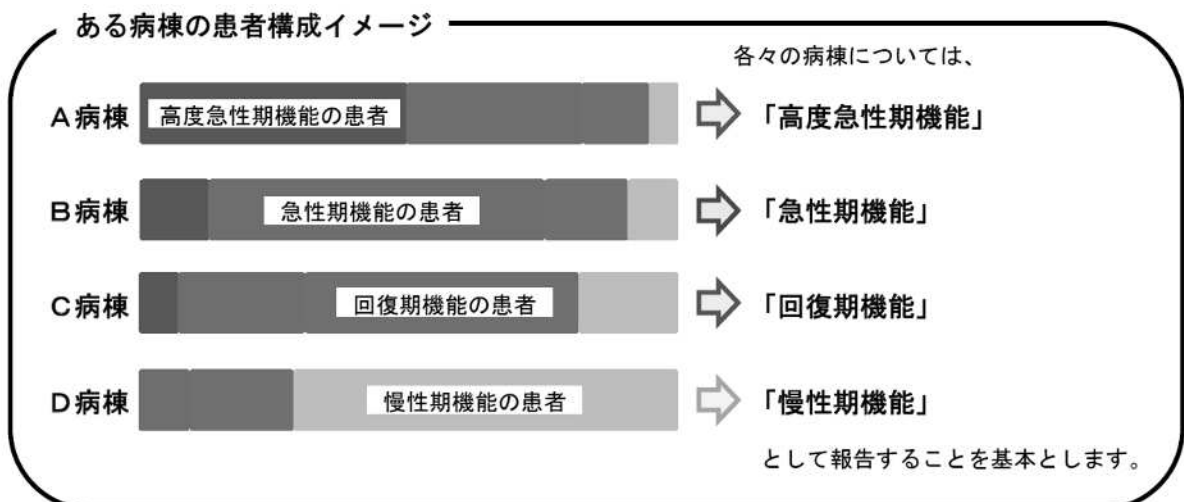
各病棟の病床が担う医療機能は、下表に示す時点ごとに、それぞれ選択し、ご報告いただきます。

時点	回答の仕方
2024（令和6）年7月1日時点の機能（必須）	2024（令和6）年7月1日時点で当該病棟が担う医療機能について、いずれか1つ選択してご報告ください。
2025（令和7）年7月1日時点の機能（必須）	2025（令和7）年7月1日時点で当該病棟が担う予定の医療機能について、いずれか1つ選択してご報告ください。
2025（令和7）年7月1日時点の病床数（必須）	2025（令和7）年7月1日時点で当該病棟に予定している病床数について、ご報告ください。 なお、「2025（令和7）年7月1日時点の機能」において何らかの医療機能を選択した場合、「2025（令和7）年7月1日時点の病床数」は必ず0より大きい数字を入力してください。
2025（令和7）年7月1日までに変更予定がある場合	2025（令和7）年7月1日時点の病床の機能の予定に向けて、変更予定がある場合は、その変更予定年月、変更後の機能についてもご報告ください。

## 2-3. 医療機能の選択における基本的な考え方

病床機能報告においては、病棟が担う医療機能をいずれか1つ選択して報告することとされていますが、実際の病棟には様々な病期の患者が入院していることから、下図のように当該病棟において**最も多くの割合を占める患者に相当する機能を報告することを基本とします**。

なお、病床機能報告は、医療機関のそれぞれの病棟が担っている医療機能を把握し、地域における医療機能の分化・連携を進めることを目的として行われるものであり、**病床機能報告においていずれの医療機能を選択されても、診療報酬上の入院料等の選択等に影響を与えるものではありません**。



## 2-4. 医療機能の選択における留意点

診療報酬上では、看護人員配置が手厚いほど医療密度の濃い医療を提供することが期待されて点数が設定されておりますが、病床機能報告においては、看護人員配置が手厚い場合であっても、実際に提供されている医療機能を踏まえてご報告ください。

- **下表に掲げる高度急性期・急性期に関連する医療を全く提供していない病棟については、高度急性期機能及び急性期機能以外の医療機能を適切に選択してください。**なお、下表に掲げる医療を全く提供していないにもかかわらず、高度急性期機能又は急性期機能と報告される場合は、下表に掲げるもの以外にどのような医療行為を行ったのかを別途、ご報告いただく必要があります。

高度急性期・急性期に関連する医療行為は、以下に掲げるもの。

カテゴリ	具体的な項目名		
分娩	分娩（正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く）		
幅広い手術	手術（入院外の手術、輸血、輸血管理料は除く）	全身麻酔の手術	人工心肺を用いた手術
	胸腔鏡下手術	腹腔鏡下手術	内視鏡手術用支援機器手術
がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療	悪性腫瘍手術	病理組織標本作製	術中迅速病理組織標本作製
	放射線治療	化学療法	がん患者指導管理料 イ及び□
	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	超急性期脳卒中加算
	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	入院精神療法（Ⅰ）
	精神科リエゾンチーム加算	認知症ケア加算 1、2 及び 3	
	精神疾患診療体制加算 1 及び 2	精神疾患診断治療初回加算（救命救急入院料）	
重症患者への対応	ハイリスク分娩管理加算	ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）	地域連携分娩管理加算
	救急搬送診療料	観血的肺動脈圧測定	持続緩徐式血液濾過
	大動脈バルーンパンピング法	経皮的心肺補助法	補助人工心臓・植込型補助人工心臓
	頭蓋内圧持続測定（3時間を超えた場合）	人工心肺	血漿交換療法
	吸着式血液浄化法	血球成分除去療法	
救急医療の実施	院内トリアージ実施料	夜間休日救急搬送医学管理料	救急医療管理加算 1 及び 2
	在宅患者緊急入院診療加算	救命のための気管内挿管	体表面ペーシング法又は食道ペーシング法
	非開胸的心マッサージ	カウンターショック	心膜穿刺
	食道圧迫止血チューブ挿入法	急性期充実体制加算	早期栄養介入管理加算
全身管理	中心静脈注射	呼吸心拍監視	酸素吸入
	観血的動脈圧測定（1時間を超えた場合）	ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄	人工呼吸（5時間を超えた場合）
	人工腎臓、腹膜灌流	経管栄養・薬剤投与用カテテル交換法	

- **特定機能病院における病棟については、一律に高度急性期機能を選択するものではありません。**「2-3. 医療機能の選択における基本的な考え方」をご参考のうえ、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択してください。
- **「急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療」を提供している場合には、現状において、リハビリテーションを提供していても回復期機能を選択できる**こととされています。回復期機能については、「リハビリテーションを提供する機能」や「回復期リハビリテーション機能」のみに限定するものではありません。
- 地域包括ケア病棟については、当該病棟が主に回復期機能を提供している場合は回復期機能を選択し、主に急性期機能を提供している場合は急性期機能を選択するなど、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択してください。
- 地域包括医療病棟入院料については、当該病棟が主に回復期機能を提供している場合は回復期機能を選択し、主に急性期機能を提供している場合は急性期機能を選択するなど、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択してください。

## 2-5. 病棟の統廃合等を予定している場合の留意点

医療機能は、現状のみならず「2025（令和7）年7月1日時点における病床の機能の予定」についてもご報告いただきます。その際、今後、病棟構成の変更（医療機関の統合を含む）を予定している場合は、以下の点にご留意ください。

- ・ 今後、病棟再編などにより現在の病棟を複数に分割する場合には、分割時に多く残す機能のご予定を「2025（令和7）年7月1日時点における病床の機能の予定」としてご報告ください。
- ・ 病棟の統合予定がある場合は、統合前の全ての病棟について、「2025（令和7）年7月1日時点における病床の機能の予定」には同一の医療機能を選択し、自由記入欄に「○年○月に○○病棟、○○病棟と統合予定」など、コメントを記載のうえ、ご報告ください。
- ・ 医療機関同士の統合予定がある場合も同様に、現時点で回答できる範囲で、「2025（令和7）年7月1日時点における病床の機能の予定」について、病棟ごとにご回答ください。その際、自由記入欄にも、状況について詳細にご報告ください。
- ・ 病棟の休止や廃止予定がなく、継続して何らかの機能を担う場合、予定病床数は必ず0より大きい値をご報告ください。

### 3. 報告対象機関が有床診療所の場合

#### 3-1. 有床診療所における医療機能について

有床診療所については、施設全体を **1 病棟** と考え、**施設単位** でご報告いただきます。医療機能については、下表の4つの中から1つをご選択ください。

※ 有床診療所には様々な患者が入院していることを踏まえてご回答ください。

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

有床診療所は、病床数が19床以下と小規模であり、また、地域の医療ニーズに対応して多様な役割を担っていることを踏まえ、以下のような機能の選択の例が考えられます。

（例）

- ・ 産科や整形外科等の単科で手術を実施している有床診療所 → 急性期機能
- ・ 在宅患者の急変時の受入れや急性期経過後の患者の受入れ等、幅広い病期の患者に医療を提供している有床診療所 → 急性期機能又は回復期機能のいずれか
- ・ 病床が全て療養病床の有床診療所 → 慢性期機能

#### 3-2. 有床診療所の病床の役割として担っている機能について

有床診療所については、医療機能とは別に、有床診療所の病床の役割として担っている機能について、次の①～⑤よりご選択のうえ、ご報告ください（複数選択可）。

- |                               |
|-------------------------------|
| ① 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能 |
| ② 専門医療を担って病院の役割を補完する機能        |
| ③ 緊急時に対応する機能                  |
| ④ 在宅医療の拠点としての機能               |
| ⑤ 終末期医療を担う機能                  |

以上

令和  
6  
年度

# 病床機能報告 報告マニュアル<②手順編>

## 目次

1. 病床機能報告制度について.....	1
1-1. 病床機能報告制度の概要.....	1
1-2. 報告対象となる医療機関の範囲.....	2
1-3. 報告対象となる病棟の範囲.....	3
2. 報告の流れ.....	4
2-1. 報告様式の種類.....	4
2-2. 報告までの流れ.....	7
2-3. 報告における留意点.....	14
2-4. 報告期限.....	15
2-5. 報告結果の公開.....	15
3. 報告項目の概要.....	16
3-1. 報告様式1における報告項目の概要.....	16
3-2. 報告様式2における報告項目の概要.....	17
4. 具体的な報告手順.....	20
4-1. 報告様式等の入手.....	20
4-2. 報告様式の記入・不備の確認.....	25
4-3. 報告様式の提出.....	26
5. 問い合わせ窓口.....	27

令和6年9月

厚生労働省

# 1. 病床機能報告制度について

## 1-1. 病床機能報告制度の概要

病床機能報告制度とは、医療法（昭和23年法律第205号）第30条の13に基づいて実施する制度です。

### <参考>

○ 医療法（昭和23年法律第205号）（抄）

第三十条の三（略）

2（略）

六 地域における病床の機能（病院又は診療所の病床において提供する患者の病状に応じた医療の内容をいう。以下同じ。）の分化及び連携並びに医療を受ける者に対する病床の機能に関する情報の提供の推進に関する基本的な事項

3（略）

第三十条の三の二 厚生労働大臣は、前条第二項第五号又は第六号に掲げる事項を定め、又はこれを変更するために必要があると認めるときは、都道府県知事又は第三十条の十三第一項に規定する病床機能報告対象病院等の開設者若しくは管理者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、同項の規定による報告の内容その他の必要な情報の提供を求めることができる。

2（略）

第三十条の十三 病院又は診療所であつて療養病床又は一般病床を有するもの（以下「病床機能報告対象病院等」という。）の管理者は、地域における病床の機能の分化及び連携の推進のため、厚生労働省令で定めるところにより、当該病床機能報告対象病院等の病床の機能に応じ厚生労働省令で定める区分（以下「病床の機能区分」という。）に従い、次に掲げる事項を当該病床機能報告対象病院等の所在地の都道府県知事に報告しなければならない。

一 厚生労働省令で定める日（次号において「基準日」という。）における病床の機能（以下「基準日病床機能」という。）

二 基準日から厚生労働省令で定める期間が経過した日における病床の機能の予定（以下「基準日後病床機能」という。）

三 当該病床機能報告対象病院等に入院する患者に提供する医療の内容

四 その他厚生労働省令で定める事項

2・3（略）

4 都道府県知事は、厚生労働省令で定めるところにより、第一項及び第二項の規定により報告された事項を公表しなければならない。

5 都道府県知事は、病床機能報告対象病院等の管理者が第一項若しくは第二項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたときは、期間を定めて、当該病床機能報告対象病院等の開設者に対し、当該管理者をしてその報告を行わせ、又はその報告の内容を是正させることを命ずることができる。

6 都道府県知事は、前項の規定による命令をした場合において、その命令を受けた病床機能報告対象病院等の開設者がこれに従わなかったときは、その旨を公表することができる。

第九十二条（略）第三十条の十三第五項又は第三十条の十八の二第二項の規定による命令に違反した者は、三十万円以下の過料に処する。

※ 法律上は、医療機関から都道府県知事にご報告いただくこととなっておりますが、事務作業の効率化のため、厚生労働省は株式会社三菱総合研究所に、制度運営事務局業務等を一部業務委託しています。

## 1 - 2. 報告対象となる医療機関の範囲

### 1) 報告対象となる医療機関

令和6年7月1日時点で一般病床・療養病床を有する病院及び有床診療所（診療所・歯科診療所）は、報告対象です。

※ 許可病床として一般病床あるいは療養病床を有しているものの休床中の医療機関、健診や治験、母体保護法にもとづく利用のみで診療報酬請求を行っていない医療機関も報告対象となります。

ただし、一般病床・療養病床を有する病院及び有床診療所（診療所・歯科診療所）であっても、下記2）における「c.」、「d.」、「e.」に該当する場合は報告対象外となります。

※ 一般開放している場合は、自衛隊病院等も報告対象となります。

### 2) 報告対象外となる医療機関

以下に該当する医療機関については、報告対象外となります。令和6年度病床機能報告の実施依頼があった医療機関において報告対象外に該当する場合は、「2-2. 報告までの流れ 病床機能報告に関する作業の概要」をご覧くださいG-MISサイトより申請してください。

#### a. 一般病床・療養病床を有していない医療機関

- ※ 許可病床として精神病床のみ、結核病床のみ、感染症病床のみを有する医療機関
- ※ 病床機能報告は、地域医療構想を踏まえて各医療機関の足下の状況と今後の方向性を「見える化」するために行っているため、一般病床・療養病床を有する医療機関に限定されております。

#### b. 都道府県に全許可病床を返還済又は令和7年3月31日までに返還予定（無床診療所に移行予定）である医療機関

#### c. 特定の条件に該当する医療機関

- 刑事施設等や入国者収容所等の中に設けられた医療機関や皇室用財産である医療機関（宮内庁病院）
- 特定の事業所等の従業員やそのご家族の診療のみを行う医療機関であって、保険医療機関でないもの（地域における病床の機能分化・連携の推進の対象とはならないものであるため、病床機能報告を省略しても差し支えありません。）
  - ※ 一般開放している場合は、自衛隊病院等であっても報告対象となります。

#### d. 休院・廃院又は令和7年3月31日までに休院・廃院予定である医療機関

#### e. 令和6年7月2日以降に新たに開設した医療機関



## 1 - 3. 報告対象となる病棟の範囲

### 1) 病院における報告対象病棟

病床機能報告では、病院の各病棟における看護体制の1単位をもって病棟と取り扱います。ただし、特定入院料（※）を算定する治療室・病室については、当該施設基準の要件を満たす体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。

※ 特殊疾患入院医療管理料、小児入院医療管理料4、回復期リハビリテーション入院医療管理料、地域包括ケア入院医療管理料1～4を算定する場合は除きます。

病院においては、医療法第7条第1項から第3項に基づいて開設許可を受けている一般病床・療養病床を有する病棟のみが報告対象となります。また、許可病床として一般病床・療養病床を有する病棟の場合は、休棟中の病棟であっても「病棟票」の作成が必要となります。

精神病床のみ、感染症病床のみ、結核病床のみの病棟等は「病棟票」の作成は不要ですが、その場合にも「施設票」には、一般病床・療養病床以外の病床を含む貴院の全病床を対象としてご回答ください。なお、基準病床数制度において特例とされている特定の病床等も含めてご報告ください。

### 2) 有床診療所における報告対象病棟

有床診療所については施設全体を1病棟と考え、施設単位でご報告ください。

また、有床診療所においては「医療機能」、「有床診療所の病床の役割」、「病床数」、「人員配置」、「入院患者数」、「具体的な医療の内容に関する項目」等の一定の項目に限りご報告が必須となり、それ以外の項目については任意項目となります。なお、全病床が休床中である有床診療所においても、下記にしたがってご報告いただく必要があります。

#### 【全病床が休床中である有床診療所の報告方法】

- ① 以下のいずれか又は両方に該当する場合は、全ての必須項目について報告する必要があります。
  - ・令和6年7月1日時点で地方厚生（支）局長への入院基本料の届出がある場合
  - ・令和5年4月1日～令和6年3月31日の期間に稼働病床がある場合
- ② 入院基本料の届出がなく、過去1年間の稼働病床がない有床診療所は、「報告様式1」においては以下の項目の報告は不要ですが、それ以外の必須項目については報告が必要です。
  - ・「7. 職員数」のうち、「②入院部門の職員数」
  - ・「9. 入院患者数の状況」

## 2. 報告の流れ

### 2-1. 報告様式の種類

ご提出いただく報告様式は、「報告様式1」及び「報告様式2」の2種類です。

業務効率化等の観点から、可能な限り医療機関等情報支援システム（G-MIS）上のWEBフォームにて報告をお願いします。報告にはWindows OS 搭載のPCをご使用ください。

紙媒体を希望される医療機関は、個別に申請をお願いします。

なお、決裁等のために印刷して活用できるよう、G-MIS 上のWEBフォームで入力した報告内容のPDFファイルをダウンロードすることができます（※）。詳細は下記の【PDFファイルのダウンロード方法】をご参照ください。ダウンロードしたPDFファイルはZIPファイルに圧縮されているので、ダウンロード後に手元で解凍してください。ただし、Windows OS 以外の場合、また、WEBブラウザのバージョンが古い場合、PDFファイルの出力が正常に動作しないことがあります。

※ PDFファイルのダウンロードが可能なブラウザは以下の通りです

- ・ MICROSOFT® EDGE CHROMIUM
- ・ GOOGLE CHROME™
- ・ MOZILLA® FIREFOX®

報告様式の種類		報告項目
報告様式1	病院用 [基本票・施設票・病棟票]	I 各病棟の病床が担う医療機能 II その他の具体的な項目
	有床診療所用 [診療所票]	III 構造設備・人員配置等に関する項目 等
報告様式2 (※)	基本票・病棟票	I 算定する入院基本料・特定入院料等の状況 II 有床診療所の多様な機能の状況 等

※ オンライン又は電子媒体（フレキシブルディスク（FD）、光ディスク（MO）、光ディスク（CD-R））を用いて、電子レセプトによる請求を行っている医療機関では、報告様式にあらかじめレセプト集計結果が記載（プレプリント）されます。ただし、

- ・ 介護療養病床における入院であるために入院外レセプトで請求を行っている医療機関
- ・ 令和6年5月以降に、令和5年4月から令和6年3月診療分を月遅れ分として請求している医療機関
- ・ 紙レセプトにより請求を行っている医療機関

等では、プレプリントされません。

【PDF ファイルのダウンロード方法】

- ① G-MIS のホーム画面より「病床機能報告」をクリックすると病床機能報告リストビュー画面が表示されますので、PDF ファイルをダウンロードしたい報告様式をクリックしてください。

病床機能報告リストビュー画面



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ② 右上の「帳票出力」ボタンをクリックして下さい。

報告様式詳細画面（例：報告様式2）



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

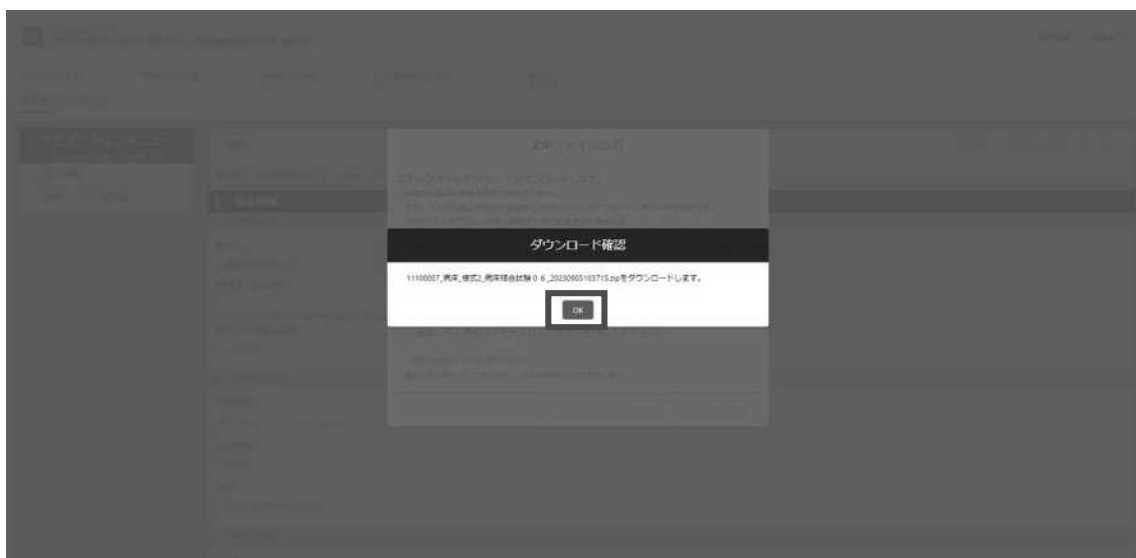
- ③ [ZIP ファイルダウンロード] ボタンをクリックしてください。  
 帳票に数値の「0」を表示しないにチェックをいれると、出力される帳票において、「0」で登録されている数値項目を空白で表示することができます。必要に応じてご活用ください。

### ZIP ファイル出力画面



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ④ [OK] ボタンをクリックしてください。報告様式の詳細画面に戻ると Windows のダウンロードフォルダに ZIP ファイルが保存されています。



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

## 2-2. 報告までの流れ

報告様式1、報告様式2の入手方法と提出方法（概要）は以下の通りです。詳細は該当ページを参照してください。

	入手方法	提出方法
G-MIS上のWEBフォームからの報告を希望する医療機関（推奨）	—	G-MIS上で報告 「4-3 1）G-MIS上で報告する場合」参照
紙の報告様式を希望する医療機関	紙媒体入手希望申請書を提出 「4-1 2）紙媒体を希望する場合」参照	記入済の紙媒体を返信用封筒にて郵送 「4-3 2）紙媒体の報告様式で報告する場合」参照

## 病床機能報告に関する作業の概要

### 1. 報告方法

- ・ 報告方法にはG-MIS上のWEBフォーム経由での提出と紙媒体での提出の2通りあります。可能な限りG-MIS上のWEBフォームからの提出をお願いします。
- ・ 深夜2:00～5:00はシステムのメンテナンスが行われるため病床・外来機能報告のG-MIS上での入力をお控えください。システムメンテナンス中に病床・外来機能報告を入力されると入力内容が正常に反映されない可能性があります。

### 2. 報告様式と報告期限の全体像

※報告様式1と報告様式2でそれぞれ報告期間が異なります。ご注意ください。

報告様式	報告様式1、報告様式2
報告期間 (提出期限)	報告様式1：令和6年10月1日～11月30日 報告様式2：令和6年11月1日(予定)～11月30日 ※提出された報告内容において疑義が確認された場合、厚生労働省「令和6年度 病床・外来機能報告」事務局(以下「制度運営事務局」と言う。)から問い合わせ及び修正依頼を行うことがあります。

### 3. 作業フローの全体像

#### STEP 1 ～本日よりご対応いただきたいこと～

- ・ 下記のA、Bのいずれかに該当するか確認してください。
  - A：報告対象医療機関に該当しない場合(注1)
  - B：インターネット環境が整っていない等の事情によりG-MIS上のWEBフォームからの報告ができず、紙媒体での報告を希望する場合
- ・ 該当する場合は、それぞれ以下のご対応をお願いします。
  - Aに該当：11月15日までに下記①あるいは②のいずれかを行ってください。
    - ①G-MISサイト上で申請してください。詳細は下記の【G-MISサイト上の報告対象外医療機関申告の申請方法】をご覧ください。
    - ②G-MISサイトを使用できない場合は問い合わせ窓口(制度運営事務局)までご連絡ください。
  - Bに該当：「令和6年度 病床・外来機能報告 紙媒体入手希望申請書」をご提出ください。(注2)

(注1) 報告対象医療機関の定義は「1-2 2) 報告対象外となる医療機関」をご参照ください。  
(注2) 紙媒体資料の発送までに5～10営業日程度要する場合がありますため紙媒体入手希望申請は10月27日までに行ってください。また、申請の時期に関わらず報告様式2は11月4日以降の発送となります。記入方法等については「紙媒体入手希望申請書 記入要領」をご参照ください。

#### STEP 2 ～10月1日よりご対応いただきたいこと～

- ・ 報告様式1の報告の受付を開始します。
- ・ 10月1日に、G-MISのWEBフォームを開設します。業務効率化等の観点から、可能な限りG-MIS上のWEBフォームを用いて報告をお願いします。
- ・ G-MISにアクセスし入力作業を開始してください。G-MIS上での提出も可能です。

#### STEP 3 ～11月1日(予定)よりご対応いただきたいこと～

- ・ 報告様式2の報告の受付を開始する予定です。報告様式1と同様に可能な限りG-MIS上のWEBフォームを用いて報告をお願いします。

## STEP 4

～11月30日までにご対応いただきたいこと～

- ・ 11月30日までに必須項目の入力を完了し、提出をお願いします。
- ・ 提出された報告内容において疑義が確認された場合、制度運営事務局から問い合わせ及び修正依頼を行うことがあります。

### 【G-MIS サイト上の報告対象外医療機関申告の申請方法】

- ① G-MIS のホーム画面より【病床機能報告】をクリックすると病床機能報告リストビュー画面が表示されますので、【病床・外来機能報告 問合せフォーム】をクリックしてください。

### 病床機能報告リストビュー画面

厚生労働省 G-MIS  
医療機関等情報支援システム

ホーム 設置 お知らせ 問合せ FAQ レポート 医療機能スタ

検索キーワードを入力してください

各種資料  
令和5年度 病床機能報告結果マニュアル<基本編>  
令和5年度 病床機能報告結果マニュアル<分科編>  
令和5年度 病床機能報告 報告形式1記入要領 (PDF添付)  
令和5年度 病床機能報告 報告形式2記入要領 (PDF添付)  
令和5年度 病床機能報告 報告形式3記入要領 (PDF添付)  
令和5年度 病床・外来機能報告ダッシュボードマニュアル

病床・外来機能報告 問合せフォーム  
以下の連絡が必要な医療機関は病床・外来機能報告 問合せフォームから申請してください。  
病床・外来機能報告 問合せフォーム  
・ 新規・問合せ  
・ 報告対象外医療機関申告  
・ 変更し依頼

報告状況について  
・ 未作成：報告が作成されていない状態です。報告画面に進み、報告項目の入力を省略します。  
・ 作成中：報告が作成途中の状態です。すべての報告項目を入力し、「報告ボタン」から登録を完了します。  
・ 報告済み：報告が完了している状態です。修正を行う場合は、お戻しの病院をお願いします。

※病床・外来機能 報告対象外の場合、一部のグラフは表示されません。

すべて目	病床・外来機能報告	エラーありなし	報告状況
タイトル	病床・外来機能報告	なし	作成中

すべて表示

すべて目	病床・外来機能報告	エラーありなし	報告状況
タイトル	病床・外来機能報告	あり	作成中

すべて表示

ダッシュボード  
病床・外来機能報告ダッシュボード(医療機関)

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ② 病床・外来機能報告 問合せフォームにて【新規】ボタンをクリックしてください。登録いただいた問い合わせは全て表示されます。なお、対応状況が【完了】の問い合わせは修正できません。

対応状況は、下記のパターンがございます。

1：未対応

制度運営事務局がまだ登録内容を確認していない状態です。

(登録内容編集可能)

2：対応中

制度運営事務局が登録内容を確認し、対応を行っている状態です。

(登録内容編集可能)

3：完了

登録者に連絡が行われ、問い合わせが終了している状態です。

(登録内容編集不可)

### 病床・外来機能報告 問合せフォーム

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。



- ③ 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面にて「2. 報告対象外医療機関申告書」を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。[キャンセル] ボタンをクリックすると画面が閉じます。

- 1：質疑・照会（使用期間：令和6年9月20日～令和7年1月31日 23:59）  
病床・外来機能報告の報告項目について疑義が発生した場合にこちらから制度運営事務局にご連絡ください。
- 2：報告対象外医療機関申請書（使用期間：令和6年9月20日～11月15日 23:59）  
自院が病床・外来機能報告の報告対象外である場合にこちらから制度運営事務局にご連絡ください。
- 3：差戻し依頼（使用期間：令和6年12月2日～12月26日 23:59）  
病床・外来機能報告の報告結果を申請すると、差戻しを行わない限り修正することができません。再編集を行いたい場合は、こちらから制度運営事務局にご連絡ください。

#### 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ④ 病床・外来機能報告 問合せ入力画面にて各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックしてください。保存時に、入力内容のチェック処理がかかります。エラーが表示された際は、エラー内容を確認し、入力内容の修正をお願いします。一度、病床・外来機能報告 問合せフォームに登録いただいた内容は削除できません。誤登録等の理由で病床・外来機能報告 問合せフォームの内容を取り消したい場合は、病床・外来機能報告 問合せフォームの「1. 質疑・照会」よりご連絡ください。

※ 見出し項目先頭に(\*)がある項目(氏名(ふりがな)、氏名、電話番号)は入力必須

## 病床・外来機能報告 問合せ入力画面

各種調査・報告作成 お知らせ 医療法人事業報告書等経営情報等確認 お問合せ FAQ その他

新規病床・外来機能報告 問合せフォーム

\* 必須情報

\* 対応状況  
1. 未対応

基本情報

\* 氏名（ふりがな）  
氏名  
部署名  
\* 電話番号（ハイフンなし）  
FAX（ハイフンなし）  
e-mail

令和5年7月1日時点における貴院の状況についてご記入ください。

\* ① 病院・有床診療所の種別  
--なし--

令和5年7月1日時点における貴院の状況についてご記入ください。

\* ① 病院・有床診療所の種別  
--なし--

\* ② 一般病床または療養病床の許可病床の有無  
--なし--

③ 【上記②の許可病床が「1. 有り」の場合】 許可病床数（一般病床）  
④ 【上記②の許可病床が「1. 有り」の場合】 許可病床数（療養病床）  
⑤ 【上記②の許可病床が「1. 有り」の場合】 貴院の状況  
運動関係にあるすべての項目を参照

休床・廃床または全許可病床を返還（毎床診療所への移行）の  
実施（予定）年  
--なし--

休床・廃床または全許可病床を返還（毎床診療所への移行）の  
実施（予定）月  
--なし--

運動関係にあるすべての項目を参照

令和5年度病床・外来機能報告で該当する医療機関種別を選択してください。

令和5年度病床・外来機能報告で該当する医療機関種別を選択してください。  
--なし--

その他

キャンセル 保存 & 新規 保存

必須項目を入力し、【保存】ボタンをクリックすると、  
病床・外来機能報告 問合せ詳細画面に移ります。

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ⑤ 病床・外来機能報告 問合せ詳細画面にて登録内容を確認してください。登録内容を修正する場合は【編集】ボタンをクリックすると病床・外来機能報告 問合せ入力画面に戻ります。登録内容に修正がない場合は、ブラウザのタブを閉じてください。タブを閉じる際には、誤って Windows のブラウザを閉じないようご注意ください。

### 病床・外来機能報告 問合せ詳細画面

ホーム 検索 各種検索・報告作成 お知らせ 医療法人事業報告等経費控除等確認 西暦問合せ FAQ その他 検索キーワードを入力してください

病床・外来機能報告 問合せフォーム  
申請番号-00001039 [編集] [閉じる]

申込状況  
1. 未申込

基本情報

病院名

病床・外来機能報告

報告番号

住所

法人名 (必ずしも) 東京都中央区  
〒100-0001

法人名  
〒100-0001

法人名  
〒100-0001

法人名 (ハイフンなし)  
012011112222

法人名 (ハイフンなし)  
012011112222

法人名  
012011112222

Eメール  
test@g-mis.com

令和5年7月1日時点における病院の状況についてご記入ください。

① 病院・外来機能報告の種類

1. 病院

② ①の病院または外来機能報告の報告の種類

1. 有り

③ ①②の報告の種類が「1. 有り」の場合の報告の種類 (一般病棟)

100

④ ①②の報告の種類が「1. 有り」の場合の報告の種類 (療養病棟)

50

⑤ ①②の報告の種類が「1. 有り」の場合の報告の種類 (手術病棟)

3. 入院・療養、手術病棟の設置の有無 (予定) なし

⑥ 病院・外来機能報告は全診療科目を記載 (病棟・外来機能報告への移行) の実施 (予定) 有

令和5年度病床・外来機能報告で該当する医療機関種別を選択してください。

令和5年度病床・外来機能報告で該当する医療機関種別を選択してください。

6. 変更のいずれにも該当しない

※上記の回答で条件に当てはまる場合、令和5年度病床・外来機能報告は「報告対象外」となります。

病床・外来機能報告の報告対象 設定

報告対象

その他

備考 ●

テスト備考

登録内容を修正する場合は【編集】ボタンをクリックすると、病床・外来機能報告 問合せ入力画面に戻ります。

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ⑥ 申告完了については病床・外来機能報告 問合せフォームよりご確認ください。

## 2-3. 報告における留意点



報告期間内の場合、報告様式提出後でも修正することが可能です。詳細は病床機能報告 確認・記入要領の「1. 報告の概要 (2) 報告様式の作成・提出の進め方」をご覧ください。報告期間終了後、令和7年1月31日までに修正の必要が生じた場合は病床・外来機能報告 問合せフォームの「1. 質疑・照会」または電話で制度運営事務局までご連絡ください。

※ 同一医療機関から報告期間内に複数回の報告があった場合、最後にご報告いただいた情報を最終の報告内容とします。

### 1) 報告様式1における留意点

報告様式1には、「病院用」の報告様式（基本票・施設票・病棟票で構成）と「有床診療所用」の報告様式（診療所票で構成）があります。貴院の病診区分と一致しているかご確認のうえ、ご報告ください。もし異なっている場合には、お手数ですが制度運営事務局までご連絡ください。

なお、報告様式1では報告負担軽減のために以下の項目について令和5年度の報告結果がプレプリントされています。必要に応じて修正のうえ、ご報告ください。

・設置主体、許可病床数、主とする診療科、医療機器台数、建物の建築時期・構造（病院のみ）

### 2) 報告様式2における留意点

報告様式2は**病棟単位**でご報告いただきます（有床診療所は施設全体を1病棟と考え、施設単位でご報告ください）。

なお、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている医療機関は、診療報酬請求時の病棟コードの入力の有無により報告方法が異なります。報告方法の詳細は、「3-2. 報告様式2における報告項目の概要」をご参照ください。

「令和5年4月から令和6年3月診療分（令和6年4月まで審査分）の電子入院レセプトがある医療機関」へは、厚生労働省において必要な項目の集計を行い、集計結果がプレプリントされた報告様式2が、11月1日からG-MIS上で表示する予定としています。集計内容についてご確認のうえ、必要に応じて修正し、11月30日までにG-MIS上でご報告ください。

集計内容について確認した結果、**修正が必要ない場合等についても、報告は必須**です。

なお、業務委託先（株式会社三菱総合研究所）は、契約により知得した内容を契約の目的以外に利用すること若しくは第三者に漏らしてはならないこととする契約を厚生労働省と結んでいます。

※ 電子レセプトによる診療報酬請求とは、オンライン又は電子媒体（フレキシブルディスク（FD）、光ディスク（MO）、光ディスク（CD-R））で請求を行っていることを指します。

※ 介護療養病床において医療の給付を受けた場合の請求では「入院外レセプト」を使用するため、入院レセプトを集計した結果には含まれません。

「令和5年4月から令和6年3月診療分（令和6年4月まで審査分）の電子入院レセプトがある医療機関」**以外**の医療機関は、プレプリントされておきませんので、G-MIS上で直接

入力し報告をお願いします。紙媒体による報告をご希望の場合、4-1の「2）紙媒体での報告を希望する場合」を参照してください。

報告様式2において高度急性期・急性期に関連する医療項目<sup>※</sup>の報告がなく、当該病棟の報告様式1において「高度急性期機能」又は「急性期機能」を選択された場合、医療機能の整合がみられないため、報告様式1の医療機能を変更いただくか、若しくは報告様式2の「13. 当該病棟における医療機能の報告の再確認 ②2024（令和6）年7月1日時点の機能」の自由記載欄に実施した具体的な高度急性期・急性期に関連する医療項目とどのような医療機能を地域で担っているのかを別途、具体的にご記入ください。

※ 病床機能報告 報告マニュアル〈①基本編〉をご参照ください。

## 2-4. 報告期限

報告様式1、報告様式2の提出期限はいずれも**11月30日**です。紙媒体による報告の場合も、原則、11月30日（必着）となります。

※ 報告様式1は10月1日、報告様式2は11月1日より受付開始予定です。また、開始時期についてはG-MISサイトのお知らせ画面等も参考にしてください。

## 2-5. 報告結果の公開

調査結果はオープンデータとして公開する予定です。

### 3. 報告項目の概要

#### 3-1. 報告様式1における報告項目の概要

詳細は「病床機能報告 報告様式1 確認・記入要領」をご覧ください。G-MIS 上で PDF ファイルをダウンロードできます（※）。ただし、Windows OS 以外の場合、また、WEB ブラウザのバージョンが古い場合、PDF ファイルの出力が正常に動作しないことがあります。

※ PDF ファイルのダウンロードが可能なブラウザは以下の通りです

- ・ MICROSOFT® EDGE CHROMIUM
- ・ GOOGLE CHROME™
- ・ MOZILLA® FIREFOX®

#### 1) 「Ⅰ 医療機能の選択における考え方」について

令和6年度病床機能報告 報告マニュアル〈①基本編〉をご参照ください。

#### 2) 「Ⅱ その他の具体的な項目」の「①構造設備・人員配置等に関する項目」について

病棟ごとに各報告項目についてご回答ください。

項目例	調査対象時点
許可病床数	令和6年7月1日時点
算定する入院基本料・特定入院料	〃
看護師数、准看護師数、看護補助者数、助産師数等	〃
主とする診療科	〃
新規入棟患者数、在棟患者延べ数、退棟患者数等	令和5年4月1日～令和6年3月31日の 1年間
入棟前の場所別の新規入棟患者数、退棟先の場所別の退棟患者数等	〃

なお、有床診療所の報告項目は、「許可病床数」、「人員配置」、「入院患者数」、「主とする診療科」等の一定の項目に限り必須となり、それ以外の項目については任意項目となります。

### 3-2. 報告様式2における報告項目の概要

#### 1) 「Ⅱ その他の具体的な項目」の「②具体的な医療の内容に関する項目」について

詳細は「病床機能報告 報告様式2 確認・記入要領」をご覧ください。確認・記入要領はG-MIS上でPDFファイルをダウンロードできます(※)。ただし、Windows OS以外の場合、また、WEBブラウザのバージョンが古い場合、PDFファイルの出力が正常に動作しないことがあります。

※ PDFファイルのダウンロードが可能なブラウザは以下の通りです

- ・ MICROSOFT® EDGE CHROMIUM
- ・ GOOGLE CHROME™
- ・ MOZILLA® FIREFOX®

本報告様式の報告内容は、診療報酬上の項目に着目して設定されており、報告の対象となるのは、令和5年4月から令和6年3月診療分の入院レセプトです。

なお、報告様式2へのプレプリントの対象となるのは、令和5年4月から令和6年3月診療分(令和6年4月まで審査分)の入院レセプトです。

※ 「令和5年4月から令和6年3月診療分(令和6年4月まで審査分)の電子入院レセプト」があり、レセプトに「病棟コード」の入力がある医療機関のプレプリントデータには、令和5年4月から令和6年3月診療分(令和6年4月まで審査分)のレセプトの一次審査による査定・返戻・取下げ分や紙レセプトで請求されている分、介護療養病床において医療の給付を受けた場合の請求分、医療保険の対象でない労働者災害補償保険等での診療行為分等は含まれていません。追加で計上するレセプト件数等を含めた合計値を可能な範囲でご報告ください。

※ 令和5年4月診療分より前の診療分は、令和5年5月以降審査分であっても含めないでください。

※ 公費負担医療制度による請求分(電子レセプト請求分)も集計されています(医療保険との併用分は重複して集計されておりません)。

#### 2) 病床機能報告制度に関する電子レセプトへの病棟情報の記録について

詳細は「病床機能報告 報告様式2 確認・記入要領」をご覧ください。確認・記入要領はG-MIS上でPDFファイルをダウンロードできます(※)。ただし、Windows OS以外の場合、また、WEBブラウザのバージョンが古い場合、PDFファイルの出力が正常に動作しないことがあります。

※ PDFファイルのダウンロードが可能なブラウザは以下の通りです

- ・ MICROSOFT® EDGE CHROMIUM
- ・ GOOGLE CHROME™
- ・ MOZILLA® FIREFOX®

病床機能報告では、平成28年度診療報酬改定に伴うシステム改修等にあわせて電子レセプトへの病棟コードの記録が開始されたことから、報告様式2「Ⅱ②具体的な医療の内容に関する項目」についても、病棟コードにもとづき**病棟単位**で項目を集計していただくこととなります。

電子レセプトへの病棟コードの記録は、許可病床として一般病床及び療養病床を有しており、電子レセプトによる診療報酬請求を行っている**病院**が対象となります。有床診療所については、

病棟コードの記録は不要です。

電子レセプトに病棟コードを記録いただくことで、制度運営事務局が当該病棟コードにもとづき集計した「令和5年4月から令和6年3月診療分（令和6年4月まで審査分）の電子入院レセプト」のデータを参照することが可能となります。

## 「電子入院レセプトへの「病棟コード」（許可病床における一般病床又は療養病床分）の入力状況別の報告方法」

（病院のみ対象。有床診療所は除く。）

- ・病棟コードを全て又は一部に入力している医療機関：  
病棟ごとに集計した確認用データが参照できます。内容をご確認いただき、ご報告ください。  
病棟コードが未入力分のデータに関しては、医療機関で病棟ごとに集計したうえでご報告ください。
- ・病棟コードが全て未入力の医療機関：  
全ての病棟のデータが集計された状態で確認用データが参照できます。内容をご確認いただき、病棟ごとに集計したうえで、ご報告ください。

※紙媒体による報告を希望し、上記の条件に該当する医療機関についてはあらかじめ確認用データがプレプリントされた報告様式2を送付する予定です。ただし、病棟数の多い病院等の場合、送付する紙媒体の量が膨大になるおそれがあることから、個別にご確認させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

### 3) 入院診療実績の通年化に伴う負担軽減について

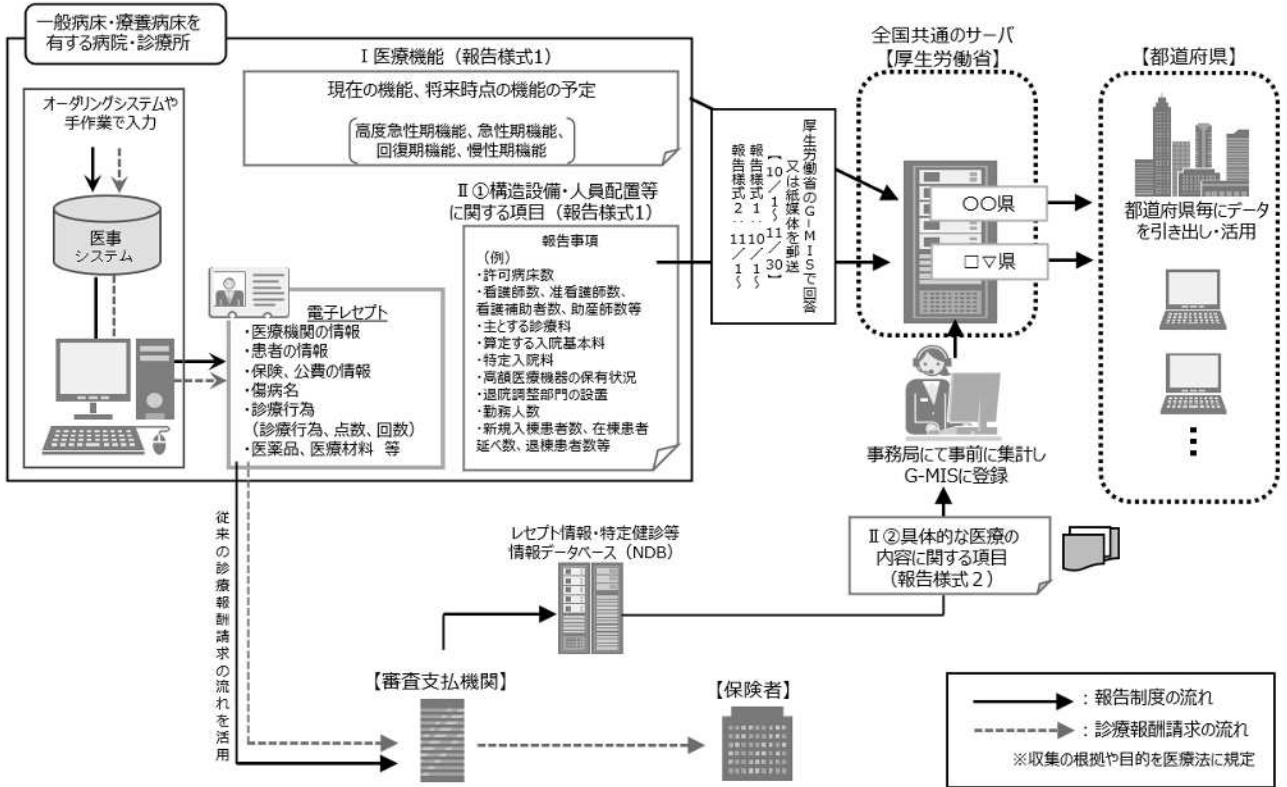
「令和3年度以降の病床機能報告における入院診療実績の報告内容等について」（令和3年4月13日付け医政地発0413第2号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）に基づき、以下の通り入院診療実績の報告の負担軽減を図ります。

- ・病床機能報告の実施にあたり、国から病床機能報告対象病院等に提供している電子レセプト情報を活用して整理した入院診療実績データについて、公費負担医療制度により請求された電子レセプト情報分を含めたうえで提供するとともに、G-MIS 上において、当該データを報告様式2に表示し、入力の簡素化を図ることとします。
- ・診療報酬請求時の電子レセプトにあらかじめ病棟コードを記録していない医療機関については、国から病棟別の入院診療実績データを提供することができないことから、当面の間、可能な範囲で病棟別に振り分けて報告すれば足りることとします（病院全体の入院診療実績を特定の病棟の診療実績としてまとめて報告して差し支えありません。）。
- ・紙媒体により報告を行っている病床機能報告対象病院等においては、入院診療実績の報告について、月別の数ではなく年間合計数のみ報告すれば足りることとします。



<参考>

病床機能報告制度における報告・集計等の仕組み（レセプト電子申請の医療機関の場合）



## 4. 具体的な報告手順

### 4-1. 報告様式等の入手

#### 1) G-MIS 上で報告する場合 (推奨)

- ① 以下に記載しているURLからG-MISにアクセスし、G-MISのユーザ名とパスワードでログインしてください。

**G-MISのURL : <https://www.med-login.mhlw.go.jp>**

G-MISのパスワード再発行が必要になった場合、ログイン画面の「パスワードをお忘れですか?」より申請してください。下記URLの「1-2. パスワード再発行申請」もご参照ください。

**G-MIS操作マニュアル (P.5 1-2. パスワード再発行申請) :**  
**<https://www.mhlw.go.jp/content/001236530.pdf>**

G-MIS上で報告可能なブラウザは以下の通りです。

- ・ MICROSOFT® EDGE CHROMIUM
- ・ GOOGLE CHROME™
- ・ MOZILLA® FIREFOX®

## ログイン画面



G-MIS のユーザ名、パスワードを入力し、ログインしてください。

G-MIS操作、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に関する「よくあるお問い合わせ」を [こちら](#) にまとめています。

G-MIS事務局へお問い合わせの前に、ご一読いただけますようお願い申し上げます。

[パスワードをお忘れですか？](#)

本システムに関する詳細は [こちら](#) をご覧ください。

**厚生労働省** 厚生労働省G-MIS事務局

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Rights reserved.

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ② ログインするとシステム選択画面が表示されますので、[G-MIS] をクリックしてください。ホーム画面に移ります。

### システム選択画面



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ③ ホーム画面より[病床機能報告]をクリックすると病床機能報告リストビュー画面に進みます。

ログイン後のホーム画面（病院の場合）

厚生労働省 G-MIS  
医療機関等情報支援システム

ホーム 調査 ▼ お知らせ お問合せ FAQ レポート ▼ その他 ▼ 未設定

検索キーワードを入力してください

G-MISの担当者に変更がある場合には、「ユーザ基礎情報登録」から担当者の引き継ぎを行っていただきますようお願いいたします。

※初回ログイン時は担当者名とメールアドレスの登録内容をご確認ください

**ユーザ 基礎情報登録**

医療機関用マニュアル  
 ※医療機関・とりまごめ休館用操作マニュアル  
 ※医療機関用緊急配布要請の操作マニュアル  
 ※医療機関向け検査・報告用操作マニュアル

入力要領  
 ※入力要領（病院内・病棟用）

**地域病床見える化**

よくあるご質問  
 ・パスワードの変更方法を教えてください。  
 ・ユーザ名（ログインID）を変更できますか。  
 ・報告内容に誤りがあり、修正したいのですが可能ですか。  
 ・オンラインシステムと連携がない場合、日次調査・週次調査の FAXでの報告も可能ですか。  
 ・システム操作マニュアルはWebで見ることが出来ますか。

新規お問合せ

未回答日次調査

実施日	タイトル	回答ステータス

すべて表示

未回答週次調査

記入日	タイトル	回答ステータス

すべて表示

厚生労働省G-MIS事務局  
 ※医療機能情報提供制度・薬局機能情報提供制度の問い合わせ先は、管轄の都道府県で受け付けております。  
 ・医療機能情報提供制度のお問合せ先は [こちら](#)  
 ・薬局機能情報提供制度のお問合せ先は [こちら](#)  
[利用規約](#) [プライバシーポリシー](#)

厚生労働省

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare. All Rights reserved.

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ④ 病床機能報告リストビュー画面にて報告様式を選択し、確認・記入要領を確認しながら報告項目を入力してください。

### 病床機能報告リストビュー画面



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

## 2) 紙媒体での報告を希望する場合

業務効率化等の観点から、可能な限り G-MIS 上の WEB フォームを用いて報告をお願いします。ただし、インターネット環境が整っていないため G-MIS 上の WEB フォームを用いて報告できない医療機関等、やむを得ない場合は、制度運営事務局から紙媒体報告様式を郵送します。

紙媒体報告様式の郵送を希望される場合には、**「紙媒体入手希望申請書」の所定項目にご記入**のうえ、原則、10月27日（必着）までに郵送又は FAX で制度運営事務局へご連絡ください（電話不可）。**提出された紙媒体の調査票を報告として受け付けます。WEB 報告に切り替えたい場合は、お手数ですが制度運営事務局へご連絡ください。**

ご連絡いただいた医療機関への紙媒体の報告様式の発送は、10月4日以降に開始する予定ですが、ご希望の受付から発送までに5～10 営業日程度の期間を頂戴する場合があります。また、報告様式2の発送は11月4日以降となります。あらかじめご了承ください。

## 4-2. 報告様式の記入・不備の確認

### 1) G-MIS 上で報告する場合 (推奨)

G-MIS の WEB フォームを用いてご入力いただく際、報告内容の不整合等を機械的に判定し、内容に応じて警告が表示されます。警告が表示された場合は、警告内容を参考に、報告内容を修正してください。

- ※ 深夜 2:00～5:00 はシステムのメンテナンスが行われるため病床・外来機能報告の G-MIS 上での入力をお控えください。システムメンテナンス中に病床・外来機能報告を入力されると入力内容が正常に反映されない可能性がありますのでご注意ください。
- ※ 外来機能報告との重複項目について外来機能報告にエラーが生じる場合は対象エラーの内容を確認の上、病床機能報告でエラーの内容を修正してください。修正されるとシステムメンテナンスの時間に自動的に外来機能報告のエラーも解消されます（外来機能報告での重複項目の修正はできません）。

### 2) 紙媒体での報告を希望する場合

紙媒体の報告内容に不整合等があった場合、後日、制度運営事務局から電話で確認させていただくことがありますので、控えの保管をお願いします。病床機能報告と外来機能報告で重複項目の回答が異なる場合は、病床機能報告の回答を正式なデータとして取り扱います。

## 4-3. 報告様式の提出

### 1) G-MIS 上で報告する場合 (推奨)

G-MISのWEBフォームで報告項目を入力しましたら【報告】ボタンを押すことで、提出が完了となります。入力が途中の場合は【保存】ボタンを押すことでデータが保存され、ログアウトしても情報は保持されます。しかし、【保存】ボタンを押しただけでは報告完了とはなりませんので、必ず【報告】ボタンを押して報告の完了を忘れないようご注意ください。提出後は11月30日23:59まで【取戻し】ボタンを押すことで報告内容の修正が可能です。

### 2) 紙媒体の報告様式で報告する場合

インターネット環境が整っていない等の理由によりG-MIS上のWEBフォームからの入力が困難な医療機関は、「4-1. 2) 紙媒体での報告を希望する場合」の方法で紙媒体の報告様式を入手し、報告内容をご記入のうえ、紙媒体報告様式送付時に同封されている返信用封筒を使用しご送付ください。ご提出いただく紙媒体の写しは、次年度の報告開始まで各医療機関での保管をお願いします。なお、FAXによる報告様式のご提出は受け付けておりません。

#### 【送付先】

〒112-8719 東京都文京区後楽一丁目1番3号 4階 株式会社サーベイリサーチセンター内

厚生労働省「令和6年度 病床・外来機能報告」事務局

※ 同封の返信用封筒に印字されていますのでご利用ください。



## 5. 問い合わせ窓口

病床機能報告の報告作業においてご不明点等ございましたら、下記の問い合わせ窓口へ電話にてご連絡ください。電話受付時間内のお問い合わせが難しい場合、G-MISサイトの連絡フォーム「病床・外来機能報告 問合せフォーム」にてご連絡ください。病床・外来機能報告問合せフォームでの問い合わせ方法については下記の【病床・外来機能報告 問合せフォーム「1. 質疑・照会」の操作方法】をご覧ください。

なお、FAXでのお問い合わせも可能です。その場合は病床・外来管理番号※、医療機関名、担当者名、所在地、電話番号を必ずご記載ください。

本報告マニュアル、各報告様式の確認・記入要領等の各種関連資料をご参照いただいたうえで、ご不明な点がある場合にお問い合わせください。問い合わせ内容によっては別の窓口の番号をお伝えしてかけ直していただく場合があります。

また、病床機能報告の対象医療機関以外からのお問い合わせには回答できません。あらかじめご了承ください。

※ 病床・外来管理番号については、本報告マニュアルとともに送付された送付状をご確認ください。

## 【病床・外来機能報告 問合せフォーム「1. 質疑・照会」の操作方法】

- ① G-MIS のホーム画面より [病床機能報告] をクリックすると病床機能報告リストビュー画面が表示されますので、[病床・外来機能報告 問合せフォーム] をクリックしてください。

### 病床機能報告リストビュー画面

厚生労働省 G-MIS  
医療機関等情報支援システム

ホーム 検索 お知らせ お問い合わせ FAQ レポート 医療機関マスタ

検索キーワードを入力してください

各種資料  
令和5年度\_病床機能報告報告マニュアル<基本編>  
令和5年度\_病床機能報告報告マニュアル<2次編>  
令和5年度\_病床機能報告\_報告様式：記入要領（簡易版）  
令和5年度\_病床機能報告\_報告様式：記入要領（報告対象機関）  
令和5年度\_病床機能報告\_報告様式：確認・記入要領（病棟・病室別報告用）  
令和5年度\_病床・外来機能報告ダッシュボードマニュアル

病床・外来機能報告 問合せフォーム  
以下の連絡先と連携して病床・外来機能報告 問合せフォームから申請してください。  
病棟・外来機能報告 問合せフォーム  
• 病棟・病室  
• 報告対象外医療機関申請  
• 連携し医療

報告状況について  
• 未作成：報告が作成されていない状態です。報告画面に進み、報告データの入力をお願いします。  
• 作成中：報告が作成途中の状態です。すべての報告項目を入力し、「報告ボタン」から登録をお願いします。  
• 報告済み：報告が完了している状態です。修正を行う場合は、連携先の業務をお願いします。

※病棟・外来機能報告が報告対象外の場合、一部のグラフは掲載されません。

すべて選択

タイトル	病棟・外来機能報告	エラーありなし	報告状況
		なし	作成中

すべて表示

すべて選択

タイトル	病棟・外来機能報告	エラーありなし	報告状況
		あり	作成中

すべて表示

ダッシュボード  
病床・外来機能報告ダッシュボード(医療機関)

更新

【病床・外来機能報告 問合せフォーム】をクリックすると、病床・外来機能報告 問合せフォームに移ります。

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ② 病床・外来機能報告 問合せフォームにて「新規」ボタンをクリックしてください。登録内容について、後日電話にてご連絡致します。問い合わせ状況は、病床・外来機能報告 問合せフォームの「対応状況」にて確認することができます。

### 病床・外来機能報告 問合せフォーム

The screenshot shows the top navigation bar with 'ホーム', '調査', '各種調査・報告作成', 'お知らせ', '医療法人事業報告書等経営情報等確認', and 'その他'. A search bar is on the right. Below the navigation is a '質疑・照会の入力について' section. The main content area has a '病床・外来機能報告 問合せフォーム' header with a 'すべて選択' dropdown and a '新規' button. A table with columns for 'タイトル', '病院名', '病床・外来管理番号', 'レコードタイプ', '対応状況', '作成日', and '最終更新日' is shown, but it is empty. A callout box points to the '新規' button with the text: 「新規」ボタンをクリックすると、病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面に移ります。 Below the table, it says '表示する項目はありません。'

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ③ 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面では、以下の区分で登録が可能です。（※1回の登録につき、1区分となっております。）

1：質疑・照会（使用期間：令和6年9月20日～令和7年1月31日23:59）  
 病床・外来機能報告の報告項目について疑義が発生した場合にこちらから制度運営事務局にご連絡ください。

2：報告対象外医療機関申請書（使用期間：令和6年9月20日～11月15日23:59）  
 自院が病床・外来機能報告の報告対象外である場合にこちらから制度運営事務局にご連絡ください。

3：差戻し依頼（使用期間：令和6年12月2日～12月26日23:59）  
 病床・外来機能報告の報告結果を申請すると、差戻しを行わない限り修正することができません。再編集を行いたい場合は、こちらから制度運営事務局にご連絡ください。

- ④ 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面にて「1. 質疑・照会」を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。[キャンセル] ボタンをクリックすると画面が閉じます。

### 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ⑤ 病床・外来機能報告 問合せ入力画面にて各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックしてください。保存時に、入力内容のチェック処理がかかります。エラーが表示された際は、エラー内容を確認し、入力内容の修正をお願いします。

[保存&新規] ボタンをクリックすることで、現在の問い合わせ内容を登録後、新規の問い合わせ内容を登録することができます。(④の病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面に移動します。)

[キャンセル] ボタンをクリックすることで、現在の入力内容を破棄します。

※ 見出し項目先頭に(\*)がある項目(氏名(ふりがな)、氏名、電話番号)は入力必須

### 病床・外来機能報告 問合せ入力画面

厚生労働省 G-MIS  
医療機関等情報支援システム

新規病床・外来機能報告 問合せフォーム: 質疑・照会

氏名(ふりがな)  
氏名  
電話番号  
住所  
〒  
〒

質疑・照会  
\* 質問・お問い合わせ内容

その他  
備考

キャンセル 保存&新規 保存

必須項目を入力し、[保存] ボタンをクリックすると、病床・外来機能報告 問合せ詳細画面に移ります。

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ⑥ 病床・外来機能報告 問合せ詳細画面にて登録内容をご確認ください。登録内容を修正する場合は、[編集] ボタンをクリックすると病床・外来機能報告 問合せ入力画面に戻ります。登録内容に修正がない場合は、ブラウザのタブを閉じてください。タブを閉じる際には、誤って Windows のブラウザを閉じないようにご注意ください。

### 病床・外来機能報告 問合せ詳細画面

登録内容を修正する場合は【編集】ボタンをクリックすると、病床・外来機能報告 問合せ入力画面に戻ります。

病床・外来機能報告 問合せフォームに記載いただいた内容について、制度運営事務局より電話にてご回答させていただきます。

※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

⑦ 病床・外来機能報告 問合せフォームに記載いただいた内容について、原則2営業日を目途に制度運営事務局より電話でご連絡します。

問い合わせ状況は、病床・外来機能報告 問合せフォームの「対応状況」にて確認することができます。対応状況は、下記のパターンがあります。

1：未対応

制度運営事務局がまだ登録内容を確認していない状態です。  
(登録内容編集可能)

2：対応中

制度運営事務局が登録内容を確認し、対応を行っている状態です。  
(登録内容編集可能)

3：完了

登録者に連絡が行われ、問い合わせが終了している状態です。  
(登録内容編集不可)

### 病床・外来機能報告 問合せフォーム



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ⑧ 病床・外来機能報告 問合せフォームの各種ボタンについては下記のとおりです。

### 病床・外来機能報告 問合せフォーム



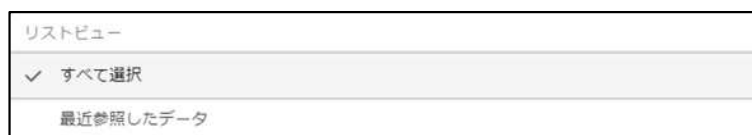
※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ① 「▼」ドロップダウンボタンから表示するリストを選択します。  
 [ピンアイコン] をクリックすることにより初期表示するリストを設定できます。  
 選択可能なリストは、下記のパターンがあります。

「すべて選択」：すべての問い合わせを一覧表示します。

「最近参照したデータ」：直近で参照した問い合わせを一覧表示します。

### ピンアイコン



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ② 対応状況に対して、ボックス内に入力した内容で検索することができます。  
 (例：未対応)



- ③ [列幅をリセット] をクリックすることにより初期値の項目列幅で表示されます。

#### 列幅をリセット



※画面のイメージは実際と異なる可能性があります。

- ④ リストを最新の状態に更新します。

**問い合わせ窓口 厚生労働省「令和6年度病床・外来機能報告」事務局**

委託先

報告内容に関するお問い合わせ：株式会社三菱総合研究所（制度運営事務局）

※ 病床・外来機能報告の報告方法・内容、プレプリントデータ、その他、病床・外来機能報告制度についてはこちらにお問い合わせください。

G-MISに関するお問い合わせ：厚生労働省G-MIS事務局

※ ユーザ名、G-MISの画面操作方法、システム障害発生時等についてはこちらにお問い合わせください。

**電話（フリーダイヤル）0120-142-305 [平日9:00～17:00受付]**

**FAX（制度運営事務局専用）03-5615-9278 [24時間受付]**

※ FAXでのお問い合わせの際は、病床・外来管理番号、医療機関名、担当者名、所在地、電話番号を必ず記載してください。

**病床・外来機能報告 問合せフォーム（G-MISサイトの連絡フォーム） [24時間受付]**

※ 電話、FAXの開設期間は令和6年9月20日9:00～12月27日17:00です。

※ 病床・外来機能報告 問合せフォームの開設期間は令和6年9月20日9:00～令和7年1月31日23:59です。

電話でお問い合わせいただく場合、音声ガイダンスが流れます。

音声ガイダンスに従い、お問い合わせ内容の番号をご入力ください。

問い合わせ内容によっては別の窓口の番号をお伝えしてかけ直していただく場合があります。

以上